



薬剤でのホワイトニング

1. 薬剤でのホワイトニング

薬剤でのホワイトニングには次の3種類の方法があります

- ①ホームホワイトニング;ご自宅で御自身が行うホワイトニング
- ②オフィスホワイトニング;歯科医院で歯科医が行うホワイトニング
- ③デュアルホワイトニング;①と②を両方行うホワイトニング

2. 各ホワイトニングのメリット・デメリット

	メリット	デメリット
ホームホワイトニング	<ul style="list-style-type: none"> ・歯のダメージが少ない ・自分の望む色までできる ・3つの方法で最も安価 ・自宅で好きな時間に可能 ・有効期間が長い(1から年) 	<ul style="list-style-type: none"> ・変化に時間がかかる ・自分で行うので手間がある
オフィスホワイトニング	<ul style="list-style-type: none"> ・白色への変化が短期間 ・歯科医院での治療で手間いらず ・通院回数が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・有効期間が短期間 ・ホームホワイトニングより高価
デュアルホワイトニング	<ul style="list-style-type: none"> ・最も白く漂白できる ・最も有効期間が長い 	<ul style="list-style-type: none"> ・最も費用が高くなる

3. ホワイトニングを行う大前提！(ホワイトニング前に必ず行っておくこと)

むし歯がある状態でホワイトニングの薬剤を使用すると薬剤が原因の痛みやその他様々な症状が生じる可能性があります。ホワイトニングをご希望の患者様は、むし歯治療からの開始となります。**むし歯治療にかかる時間や費用(保険治療)はむし歯の状態とその患者様の状態によります。**

ホワイトニングご希望の患者様はその点についてご理解の程宜しくお願い申し上げます。

詳しくは当院へご相談ください



ふたぎ歯科医院

